

令和5年度第1回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和5年4月18日（火）15:30～16:30 評議会室

出席者：井手理事長、宮川副理事長、小泉理事、松岡理事、中嶋理事、林理事、上原理事、
山本監事

欠席者：元永監事

事務局：澤野事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、
川分学生・就職支援課長、郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、
堀江高等専門学校開設準備室室長、前田課長補佐、藤居主幹

議事に先立ち、林理事および上原理事への辞令交付が行われ、会議参加者について自己紹介があった。

令和4年度第12回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）は、原案のとおり承認された。

議 題

（報告事項）

1 令和5年度運営方針について

井手理事長から、資料に基づき報告があった。

〔主な意見・質疑等〕

- ・令和5年度計画の中にある「国際通用性」を大学ではどういう意味で捉えられているか。
→ 具体的には、海外の大学との単位相互認定に堪える単位の実質化に取り組んでいる。
- ・次期中期計画には、ジェンダー平等にとどまらず「多様性の尊重」を取り入れていただきたい。
→ 「多様性の尊重」またはSDGsの「包摂性」について、次期中期計画の中に位置づけていく。
- ・地域社会のニーズを把握するための組織的な仕組みはあるか。
→ 地域連携推進のための組織としては地域連携推進本部がある。具体的には、地域共生センターのコーディネータが地域とのつなぎ役となり、教員や学生が様々な活動をしている。

2 人事異動について

役員および教員の人事異動について井手理事長から、職員の人事異動について澤野次長から、それぞれ資料に基づき報告があった。

〔主な意見・質疑等〕

- ・会計年度任用職員に相当する職員はいるか。
→ 資料には掲載されていないが、会計年度任用職員に相当する職として約30人の特任職員および約70人の短時間契約職員を雇用している。

3 令和5年度入学試験結果概要について

郡田教務課長から、資料に基づき報告があった。

[主な意見・質疑等]

- ・学校推薦型選抜Bの出願状況の過去からの状況はどうか。
 - 県内工業高校等を対象とする学校推薦型選抜Bは、10年程度前までは1学科あたり2年に1人ないし2人の出願者があったが、ここ数年はこのような出願状況が続いている。合格の基準を下げると、入学してからついていけない学生が出るという問題が生じる。
- ・環境科学部において学校推薦型選抜Aの出願者が少なかったことと考えられる要因について、次回でよいので説明していただきたい。
 - 次回の役員会で報告する。

4 滋賀県立大学 SDGs 重点取組計画およびCO2 ネットゼロ社会に向けた滋賀県立大学の取組計画について

山中地域連携・研究支援課長から、資料に基づき報告があった。

(その他)

次回の役員会は5月30日開催となることが、事務局より報告された。